

## 平成29年度海外派遣教員を励ます集い（壮行会）

平成29年2月25日（土）にピュアリティまきびで海外派遣教員を励ます会が行われました。今回は派遣者7名のうち6名の先生・ご家族方が参加してくださいました。

### ○開会あいさつ（森崎岩之助顧問）

岡山県から日本人学校に希望者を募って推薦し、皆さんが海外に派遣されるということにはいろいろな意味があります。1つは岡山県の代表としてそれぞれの職場で活躍することです。それによって岡山県の教育が評価されます。

また、一番大事なことは、現地での生活体験ができること、旅行では学べない、その地域の人々の生活を直接学べる良い機会であります。皆さん方が帰ってきたら、それぞれの派遣された地域の体験を日本の子ども達に話をするすることで、その子ども達が世界に目を開くというような役割を担っている。皆さんに対する期待はいろいろなところにあります。

新しい地域に赴任されますが、なれない土地での生活における健康の維持、全国から集まった教員の一人として協力し合い、頑張ってくださいたい。また、現地での活動を通して、新しい経験を体得して帰っていただきたいと思います。



### ○乾杯のあいさつ（武泰稔参与）



岡山県でこの制度が始まる時には、県議会から費用負担の面で追及され、森崎先生を始め、当時の学事課の方などが大変苦勞されました。県議会で説明された一つに、この制度で派遣された先生方は、海外で国際的な視野で研修をしてくる。その先生方が岡山県の教育に多大な効果をもたらすんだという説明をされました。それが認められ、この制度がスタートしました。

派遣の皆さんには健康に気をつけて視野を広めていただき、また赴任先での様子を理解して帰っていただき、岡山県の教育に返していただきたいと思います。

### ○派遣者あいさつ

**阿比留 博先生（香港日本人学校・大埔校：教諭）**

この度はシニアで派遣されます。香港は25年前、一度派遣されており、今回は大埔校ということで、同じ地域に派遣されるということに驚いています。シニアは増えております。特に補習校では多いです。退職されてまだ元気な先生方はぜひチャレンジして下さい。2年ほど現場を離れていましたので、



近くの小学校に学校ボランティアに行かせていただきました。現役の先生におんぶにだっこにならないように頑張ります。国際理解教育のホームページに掲載しますので、派遣の先生方はぜひ現地の様子を伝えて下さい。

**片山 洋平先生**（バンコク日本人学校：教諭）



家族6名で派遣が決まりました。周りに日本人学校に行かれていた先生が多く、私もぜひ行きたいなあと考えていました。国際理解のことをいろいろと勉強してきたと思います。以前行かれていた先生に『バンコクは楽しい所だよ』、『よい所だよ』と聞いて、たくさんの不安がありましたが、楽しむことも忘れず、日本人学校での勤務を頑張りたいと思います。

#### 片山 洋平先生の奥様

ずっと産休・育休をしておりましたが、中学校で英語を教えていました。私も日本人学校の勤務が夢だったので、私ではなく、夫がその夢をかなえてくれ、とても嬉しかったです。少しでも英会話で夫を支えていけたらと思います。日本との生活の違いは不安ですが、家族と自分の健康に気を付けて頑張ってきます。

**植田由実子先生**（上海日本人学校・浦東校：教諭）

去年はそちらの席に座っていて、来年はステージに立ちたいなあと考えていました。4回目にしてここに立てました。今は小規模校ですが、赴任する学校は大規模校ということで、海外だけでなく、規模の大きさにカルチャーショックがありそうです。一緒に赴任される先生が非常に熱く、いろいろな力を持っていそうなので、私も負けないように引き出しを増やして帰ってきたいと思います。また、北海道から熊本まで全国のいろいろなところから先生方が赴任されるので、今まで岡山から一度も出ていなかった私にとっては勉強になると思います。



**竹原 順也先生**（リオ・デ・ジャネイロ日本人学校：教諭）

こんな機会がないとなかなか行けないところに赴任が決まりまして、良い機会をいただけたと思います。向こうであんなこともできるんじゃないか、こんなこともできるんじゃないかとプラスに考えるうちに、どんどん期待がふくらんできました。向こうで、自然や文化、現地の子ども達や先生方からいろ

いろと学んできたいと思います。

**竹原 順也先生の奥様**

主人から日本人学校に行きたいと聞いていたので、今回決まって嬉しかったです。小学生2人と中学生がいるので、きっと主人の授業を受けることになると思う

と少し不安はありますが，こんな機会も日本人学校でしか味わえないので，家族で仲良く楽しい生活を送っていきたいと思います。

**大田 藍先生（ミラノ日本人学校：教諭）**

日本人学校に行っていた先生からお話を聞いていていつか自分も行ってみたいと思っていました。私は単身で行きますので，用心をしたいと思います。

本音では，ヨーロッパよりもアジア圏が良かったんですが，ミラノに赴任された先生から，行ってたらだんだんだんだん洗練されていくとお話を聞いて，3年後どうなっているか楽しみです。

しっかり現地の子ども達のために頑張っていて，帰ってきた時には，岡山県の教育のために頑張っていきたいと思います。



**富岡 直樹先生（プラハ日本人学校：教諭）**



今回は単身で行きます。妻もいるのですが，今年4月に東京に単身赴任で出ております。募集を4月後半に見た時に，私1人でやっていけるのかなあと考えましたが，1ヶ月間の単身生活をしてみて，これはやっていけると思いました。

20年前，家族と一緒に日本人学校に希望を出しましたが，社会科は応募者が多く，いろいろな教科や小学校の免許もあった方がよいとアドバイスをいただいたように思います。日本人学校に行くためではありませんでしたが，国語の免許をとったり小学校の免許をとったりしていくうちにそちらが楽しくなってきました。今は，いろいろな資格やいろいろな教科の免許をもっていて，機が熟したと思っています。今いる生徒達を残していくのかと考えましたが，それ以上に今しかない，今行かないとチャンスがないかもしれないということで今回希望を出しました。

1週間の研修の中で，多くのシニアの先生方の熱意にビックリしました。シニアの方も一人でやっていこうという人が多く，自分もまだまだこれからだという気持ちを持ちました。

勇気を持って外に飛び出すといろいろなところからつながりが出てきます。今回派遣される先生方の中にも，同僚だったり，奥さんが同僚だったり知り合いがいました。今回派遣されるヨーロッパに出ることで，また新しいつながりができると考えています。

**○閉会あいさつ（鳥居恭治会長）**

旅行と住むのとではまったく違います。その国に住んでみると，そこがとっても好きになります。まず行った学校，行った国を好きになっ





て下さい。

先生方の派遣先は、日本人がその国に入っていて、日本人がたくさん駐在して、学校が必要だからということで日本人学校が作られています。たくさんの日本人の中に入っていて、その国のことを知り、とっても好きになって、現地の子ども達のためにしっかり頑張ってください。一番大事なのは、健康です。子どもさんを連れていっていると、病気にあったらどうしようと心配になるかもしれませんが、すでにたくさんの日本人の方が入っていますから、病気については何とかあります。

数年間過ごす中で、自分の見方が広がる、経験が広がる。そして、岡山県に帰ってきてから岡山県の教育のためにとっても役立つと思っています。向こうで仕事も生活も楽しんで、やってきていただきたい。そして帰ってきたら、この研究会もありますので、一緒に岡山県の国際理解を発展させましょう。もし困ったら、ホームページまで連絡を下さい。この会でも何か応援できると思います。

### < 壮行会の様子 >





岡山市からの派遣のメンバーで菅野教育長へご挨拶  
菅野教育長も昔 サウジアラビアの派遣経験があり体験談や心構えについてお話しいただきました。特に健康に気をつけて任期をつとめてほしいということでした。



